

## 伊賀市議会 行政視察報告書

伊賀市議会議長 近森正利 様		報告者	西條エリ子	
参加者名	西條エリ子			
①	視察日時	10月26日 13時15分	視察先	官営八幡製鉄所旧日本事務所
	視察事項	深い歴史を持つ製鉄のまち八幡と北九州産業		
②	視察日時	10月26日 13時45分	視察先	日本製鉄 九州製鉄所
	視察事項	深い歴史を持つ製鉄のまち八幡と北九州産業		
③	視察日時	10月26日 15時15分	視察先	ゼンリンミュージアム
	視察事項	深い歴史を持つ製鉄のまち八幡と北九州産業		
<p><b>【視察の成果】</b></p> <p>官営八幡製鉄所旧日本事務所は2015年に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鐵・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つですが、八幡製鐵所内のあること、老朽化が激しことにより、公開はされていないため、外観からの見学となりました。世界遺産に登録された歴史市資源を持つ北九州市は1900年当初から日本の四大工業地帯の一つとしての発展を継続している市の活力を感じることができた。明治34年の操業の現在の九州製鉄所の視察では八幡地区において従業員約3700人、広さは東京ドーム237個分、粗鋼生産量は、日本製鉄全体で3,426万トン、八幡地区だけでは361万トンの日本の製鐵産業の現場を見せて頂いた。製鉄所での鉄鉱石の製錬から製品化までの製鐵プロセスを学び、特に生産ラインや製品の品質管理において徹底された取組みにより、高品質の製品の生産につながっていると感じました。九州製鉄所では環境への取組みが積極的に行われている。エネルギー効率の向上や二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいる。ライフサイクルアセスメントとしてリサイクルや再生可能エネルギーの利用も進んでいる。地域社会との連携では、協力関係を重視していて、雇用の提供、地元への情報開示など地域の発展に貢献している。視察を通じて、日本製鉄が技術力、環境への配慮、地域社会への貢献など様々な側面で優れた取り組みを行っていることが理解できた。ゼンリンミュージアムでは地図や地理情報の歴史から最新技術までを網羅した展示が行われている。地図の変遷をたどり世界と日本の歴史を読み解くテーマ、ゼンリンミュージアムの視察を通じて地理情報の技術の急速な発展と、今後の地理空間データの有益な利用、地図は人間の思想の変化を示す敏感な指針という言葉が心に残った。</p>				
費用	旅費	円	研修参加費： 11,000 円	合計： 11,000 円

領収書等添付用紙

議員名

西條エリ子

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費  
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

項目ごとに領収書添付

- ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。
- ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。
- ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
- ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。



領収証 RECEIPT

伊賀市議会 西條 エリ子 様

登録番号：T8010701012863

No. 2023-8792-00643

発行日：2023年11月30日

下記の金額正に領収いたしました。

¥11,000\*

株式会社JTB  
北九州支店  
北九州市小倉北区堺町1-1-1  
JTB小倉ビル7階〒802-0005

2023年10月25日～2023年10月26日

但し ご旅行代金として

(第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州  
視察代金)

※軽減税率対象

取引日	品名	単価	利用数	金額	備考	消費税
	ご旅行代金 (視察代金)	¥11,000	1	¥11,000		10%
合計				¥11,000		
代金計				(税込)	うち消費税	
				¥11,000	¥1,000	
(10%対象)				¥11,000	¥1,000	

Amarysにより11月16日、銀行振込にて入金

出納責任者	[Redacted]
取扱者	[Redacted]



収入  
印紙

領収箇所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

# ◆ 視察Ⅲのご案内 (募集型企画旅行契約)



視察Ⅲは、10月26日(木)・27日(金)に次の11コースを設定いたします。視察Ⅲの11コースに重複しての参加はできませんが、視察Ⅰ・Ⅱと重複しての参加は可能です。当日の交通事情により、下記スケジュールは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。集合場所・時間につきましては、参加証などをお送りする際にお知らせいたします。視察終了後の交通機関のご予約は十分な余裕を持ってご手配ください。

※視察プランの詳細なスケジュールは、10月初旬に送らせていただきます「参加のご案内」にてご連絡いたします。

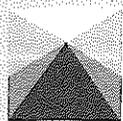
■ 募集型企画旅行\*旅行条件書(P.27)を事前にご確認のうえ、お申込みください。

Dコース 世界に誇れる技術を有する北九州産業 視察		日帰り
<p>コースポイント</p> <p>北九州市は化学・窯業・電機などを中心とした様々な素材型産業が発展し、成長を遂げてきました。その中でも世界に誇れる技術を有する企業2社を視察し、近代産業の発展の歴史と合わせて「ものづくりのまち 北九州」の魅力を感じていただきます。</p> <p>● 募集人数:40名 ● 最少催行人数:25名 ● 旅行代金(お一人様あたり):10,000円 ● 添乗員同行</p> <p>● 代金に含まれるもの:貸切バス代金・昼食代金・視察入場料・添乗員費用</p>		
行程		食事
10/26 (木)	西日本総合展示場(新館) === 北九州市内(昼食) === 安川電機みらい館 === 11:30 12:00 13:00 === TOTOミュージアム === 小倉駅 === 北九州空港 15:00 16:30 17:30	朝× 昼○ 夕×
<p>【安川電機】 安川電機は大正4年の会社創立以来、産業のオートメーションの推進、メカトロニクス創造、そして産業用ロボット「モートマン」の開発と、常に先端の技術により開発した製品を社会に提供しております。産業用ロボット「モートマン」は1977年の1号機出荷以来、これまでに累計30万台を超える世界一の出荷台数を誇ります。「安川電機みらい館」では産業用ロボットなどの最先端技術が作り出す、ものづくりの楽しさと凄さを体験することができます。</p> <p>【TOTOミュージアム】 2017年に創立100周年を迎えたTOTOの記念事業として2015年にオープンしました。創立から現在に至るまでの歴史の紹介と、水洗便器や洗面化粧台、また1964年にホテルニューオータニへ納入した日本初となるユニットバスルーム(JIS規定による)など、約950点展示しています。</p>		

Eコース 深い歴史を持つ製鉄のまち八幡と北九州産業 視察		日帰り
<p>コースポイント</p> <p>北九州市は1901年の官営八幡製鉄所の創業以来、四大工業地帯の一つとして発展してきました。本コースでは、世界遺産にも登録された歴史資源と現在も操業中の製鉄所を視察いただき、「過去」と「現在」を感じながら北九州市の産業の歴史を学んでいただきます。</p> <p>● 募集人数:80名 ● 最少催行人数:25名 ● 旅行代金(お一人様あたり):11,000円 ● 添乗員同行</p> <p>● 代金に含まれるもの:貸切バス代金・昼食代金・視察入場料・添乗員費用</p>		
行程		食事
10/26 (木)	西日本総合展示場(新館) === 北九州市内(昼食) === 官営八幡製鉄所旧本事務所 === 11:30 12:00 13:15 === 日本製鉄九州製鉄所 === ゼンリンミュージアム === 小倉駅 === 北九州空港 13:45 15:15 16:15 17:15	朝× 昼○ 夕×
<p>【官営八幡製鉄所旧本事務所】 2015年世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つです。八幡製鉄所内にあること、老朽化が激しいことにより、立ち入りが制限されており、公開はされておませんが、外観を眺めることのできる眺望スペースが設置されています。</p> <p>【日本製鉄九州製鉄所】 明治34年の官営製鉄所操業開始以来、優れた鉄鋼製品群を数多く誕生させ、日本の製造業を支えてきました。2020年4月には、「九州製鉄所」として新たな一歩を踏み出しました。</p> <p>【ゼンリンミュージアム】 「歴史を映し出す地図の紹介」というコンセプトのもと、2020年オープン。常設展示は3つのテーマに分かれており、厳選した地図と史料、約120点を展示しています。</p>		

※記号の見方: 貸切バス ===

※視察箇所は都合により変更になる可能性もございます。最終の視察コースは、最終案内にてご確認ください。

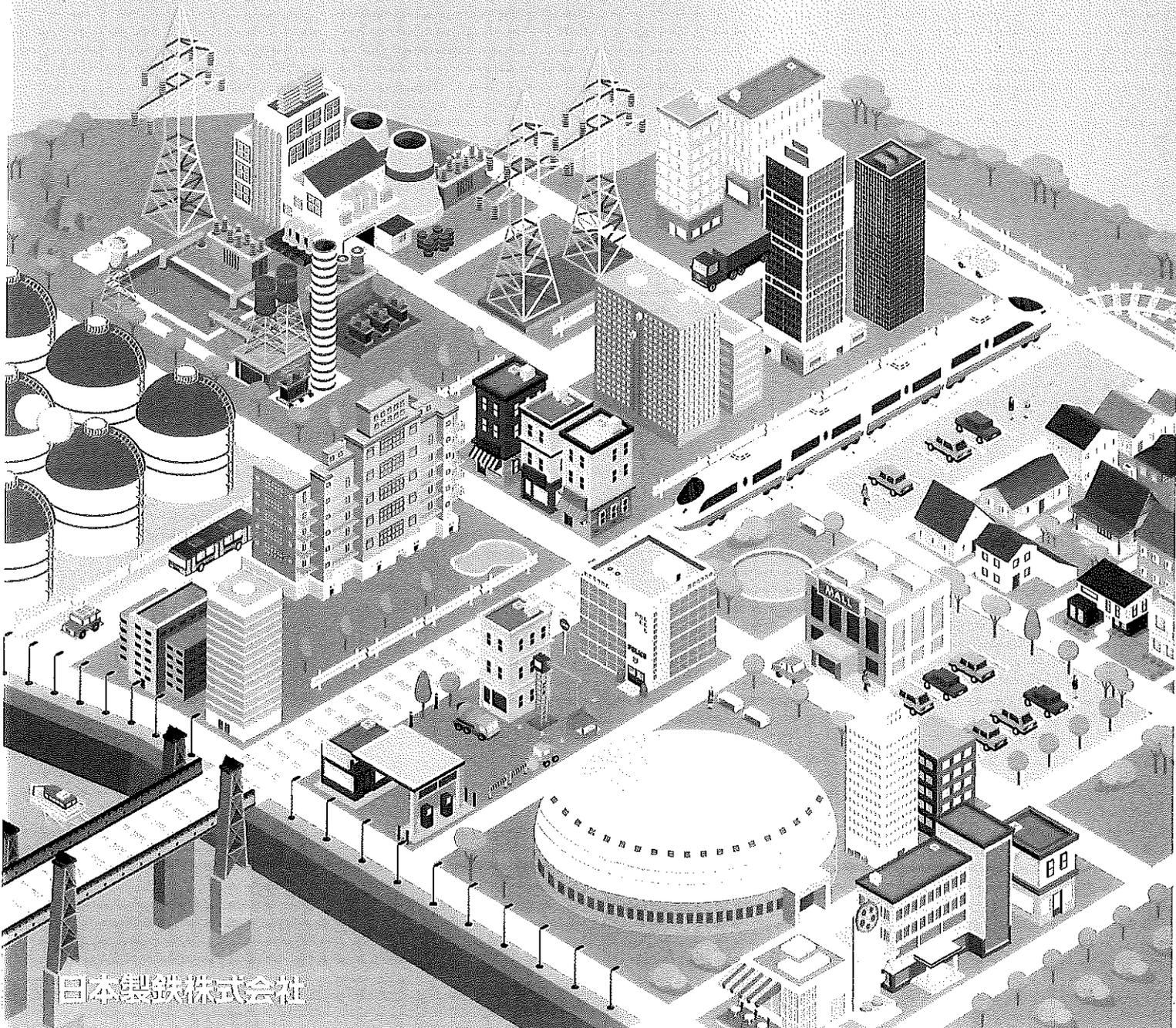


NIPPON STEEL

# KYUSHU WORKS YAWATA



九州製鉄所八幡地区って、どんなところ？



# ようこそ、ゼンリンミュージアムへ

このたびはゼンリンミュージアムにご来館いただき、誠にありがとうございます。

当ミュージアムは「歴史を映し出す地図の紹介」というコンセプトのもと、誕生しました。

「地図の楽しさ」は地図に描かれた文字を読むことだけでなく、1枚の地図の先に広がる物語を知ることにあります。

黄金の国「ジバング」の発見、天正遣欧少年使節の交流、シーボルトの日本図……

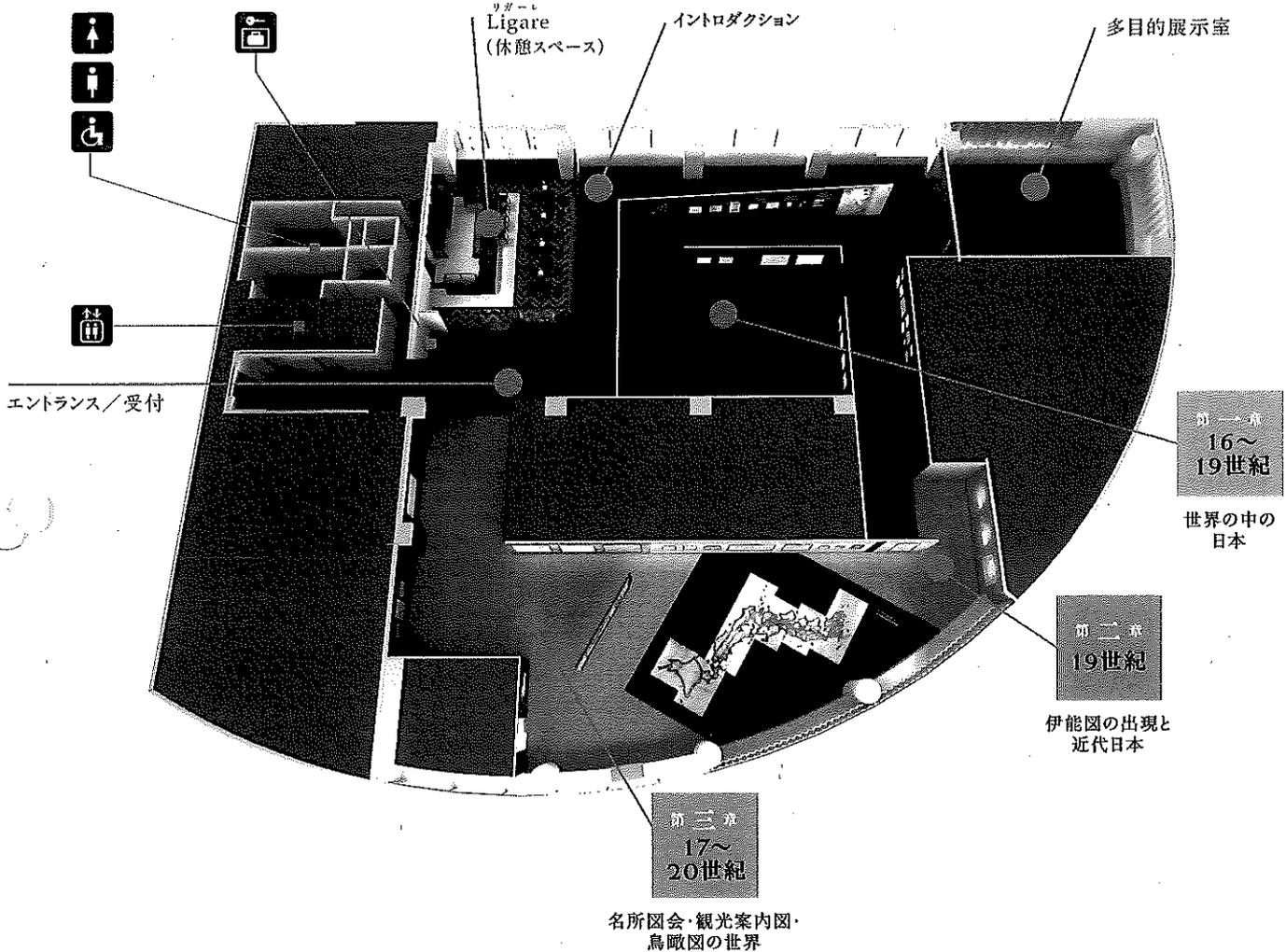
その時代の叡智の結晶といえる地図には、当時の人々が異国とどう関わっていたのか、

異国が日本をどう捉えていたのか、その世界観が克明に映し出されています。

このパンフレットを手に、地図が紡ぐ歴史、悠久の物語をたどってみてください。

未知の地平の先へ。情熱を注いだ先人たちの心がそこに息づいています。

## [フロアガイド]



ゼンリンミュージアムのシンボルマークは、

未知の航海に向かう際に指標となる、星と月、地図を描いて丸めた羊皮紙がモチーフです。

冒険者たちの航海、旅の記憶、地図を通して受け継がれる歴史を表現しています。